

建設技術展

2025近畿 ええもん^{技術}使こて、ええモン創ろ!

9つの分野に約650技術が集結

- 🏠 防災 🌿 環境 ⬇️ コスト縮減
- 👤 安全・安心 🏗️ 施工 🔄 維持・更新
- 💻 DX・ICT 🏢 団体 🎓 学校



2025.

10/30 [木] 9:30-17:00

10/31 [金] 9:30-16:45

インテックス大阪
6号館 Cゾーン

開催報告

開催趣旨

「建設技術展2025近畿」は、民間企業が開発した新技術・新工法を展示・紹介する場において、産・学・官の交流を行うことで、これまで培われてきた建設技術のより一層の高度化やより広範囲な技術開発の促進へとつなげ、新技術の各工事への積極的な活用を促すことを目的とするものです。

そのキーワードは

- ① 民間分野における建設事業に関連した技術開発への取り組みを紹介
- ② 新しく開発された技術の育成と普及
- ③ 技術開発に向けた建設技術者の意識の高揚
- ④ 発注者のニーズを広報し、新技術の開発・普及につなげる

技術展の開催を通じて、ハード・ソフト両面での社会基盤整備に関連した技術の役割や意義を発信していくとともに、発注者ならびに建設コンサルタント、ゼネコン、資材業者など幅広い方々へPRしていくことで、建設産業の一層の発展に寄与していきたいと考えています。

また、近年より各出展者から要望の多い新たな技術分野として「維持・更新」を設け、本格的なインフラの維持管理・大量更新を迎えた建設業界へ情報も発信しています。さらに、国土交通省が推進するi-Constructionを視野に、「DX・ICT」分野ではICT技術を、「施工」分野では「規格の標準化」に関する技術も紹介しています。



近畿地方整備局長
齋藤 博之氏

近畿建設協会
谷本 光司 理事長

土木学会 関西支部長
尾花 英次郎氏



来場者数

10/30 [木]
10/31 [金]
延べ**17,535**人

技術出展

技術分野	出展者数	ブース数
防災	32	33
環境	11	11
コスト削減	3	3
安全・安心	29	47
施工	40	46
維持・更新	55	61
DX・ICT	52	61
団体	7	10
学校	10	10
合計	239	282

開催イベント

関西ライフライン研究会 地震防災フォーラム

「南海トラフ地震に備えて
-阪神・淡路大震災から30年、
大阪府の地震防災最前線-」

10/30 [木] 10:45-12:15



遠藤 淳氏

遠藤 淳氏(大阪府 危機管理室 防災企画課 参事)が基調講演を行い、新・大阪府地震防災アクションプランを説明。パネルディスカッションでは、鍛田 泰子氏(神戸大学大学院 工学研究科 教授)をコーディネーターに、遠藤氏と奥村 与志弘氏(関西大学 社会安全学部 教授)が阪神・淡路大震災の教訓を踏まえた災害対応力強化策を議論しました。



NPO法人あすの夢土木 今、バズる 土木動画コンテスト 発表会・表彰式

～土木の魅力を再発信～

10/30 [木] 15:30-17:00

社会インフラの重要性や土木の魅力を広く伝えるために実施した動画コンテストに応募した22点の中から審査委員会で選ばれた5作品を発表。来場者投票を経て最優秀賞他各賞を選び、表彰しました。



橋梁模型製作コンテスト

10/30 [木] 10:30-12:30

会場製作部門 会場製作

10/31 [金] 10:00-12:00

会場製作部門・学生部門 載荷試験



技術・事業紹介等パネル展示

10/30 [木] 9:30-17:00

10/31 [金] 9:30-16:45



建設コンサルタンツ協会 近畿支部 シンポジウム

「西日本の『エッセンシャルネットワーク』
～広域高速交通ネットワークを考える～」

10/30 [木] 13:00-15:00

森戸義貴氏(一社)日本道路建設業協会 副会長 兼 専務理事)が基調講演で、広域連携の重要性や豊予海峡ルートプロジェクト、その意義などを紹介。続くパネルディスカッションでは、大津宏康氏(京都大学 名誉教授)をコーディネーターに迎え、松島格也氏(京都大学防災研究所 特定教授)、西野毅氏(国土交通省 近畿地方整備局 道路部長)、田中哲也氏(西日本高速道路(株) 経営企画部長)、田中宏紀氏(大阪府トラック協会 常務理事)が広域高速交通ネットワーク現状と課題について話し合いました。



森戸 義貴氏



関西のインフラ強化を進める会 シンポジウム

10/31 [金] 13:00-15:00

佐藤樹一郎氏(大分県知事)が「大分県広域ネットワーク構想」をテーマに特別講演を行った後、小林潔司氏(京都大学経営管理大学院 特任教授)と齋藤博之氏(国土交通省 近畿地方整備局長)、豊口佳之氏(国土交通省 四国地方整備局長)が「国土強靱化の取り組み」をテーマに意見を交わしました。



佐藤 樹一郎氏



近畿地方整備局 インフラDXコンペ 発表会

10/30 [木] 13:30-17:00

有用なインフラDX技術の発掘を目的に、公募で選出した16件の技術を発表。審査委員会は革新性・独創性・実現可能性を評価し、2件の優秀技術が表彰されました。また、信太啓貴氏(国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション))が「国土交通省におけるインフラ分野のDX・i-Construction 2.0について」をテーマに特別講演を行いました。



信太 啓貴氏



土木学会 関西支部・ 建設コンサルタンツ協会 近畿支部 関西土木工学交流発表会 ポスター発表

10/31 [金] 10:00-12:00

土木学会関西支部の会員と学生ら、建設コンサルタンツ協会近畿支部の会員が研究内容のポスターセッションを行い、産学官民の交流、世代間の交流を深めました。



学生のためのキャリア支援

～相談にのります、将来への道づくり～

10/31 [金] 13:30-15:30

土木業界を代表する産・官(官公庁、高速道路、総合建設業、建設コンサルタント、地質調査業、橋梁メーカー)から、実際に働いている方々に来ていただき、学生のみなさんの知りたいこと、聞きたいことに答えていただきました。



11/31 [金] 同時開催イベント

場所:大阪アカデミア

土木学会 関西支部・近畿地方整備局

13:30-17:00 関西土木工学交流発表会 口頭発表

場所:インテックス大阪 6号館 5階 ホールH

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム

国土政策研究会 関西支部

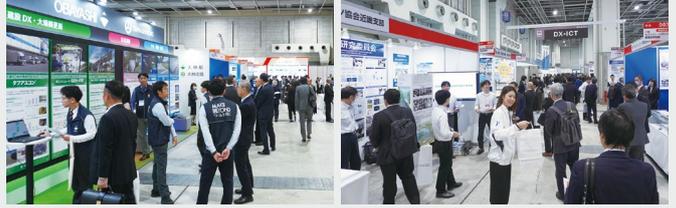
10:00-12:00 実証実験実施のその後
人道吊橋のメンテナンス技術相互協力協定
取組報告

13:00-13:45 実証実験報告会

14:00-17:00 シンポジウム

■基調講演 ■パネルディスカッション

技術展示



注目技術賞 審査委員長
野坂 周子氏
[近畿地方整備局 企画部長]

「建設技術展2025近畿」では、「DX・ICT」、「維持・更新」、「防災」といった時代の要請に応える9つの分野において、産学官から239の出展者による282のブースにて、多様な技術が一堂に会し、会場は終始熱気に包まれ、2日間の会期中に1万7千人を超える来場者を迎え、最新技術への関心の高さが伺える素晴らしい技術展となりました。

本技術展では、最新技術の展示に加え、様々なイベントも多数開催されました。“南海トラフ地震に備えて-阪神・淡路大震災から30年、大阪府の地震防災最前線-”と題したフォーラムや、“西日本の『エッセンシャルネットワーク』～広域高速交通ネットワークを考える～”に関するシンポジウムなどが来場者に向けて発信され、建設業界の未来を考える貴重な機会となりました。

今回の注目技術賞および審査委員特別賞の審査にあたっては、「技術の先進性」「効果」「活用性」という3つの観点を重視しました。その結果、「DX・ICT」分野からスマートフォンが万能測量機となる技術、多様な現場状況に対応可能なポート型ドローンの技術を選定し、「環境」分野からバイオ技術を用いた菌の呼吸を活用したコンクリートの自己治癒と水銀汚染浄化技術を選出しました。さらに、来場者投票により選ばれたベストブース賞は、出展者による技術の魅力を直感的に伝える工夫と熱意が多くの共感を呼んでいました。

現在、建設業界は人手不足、現場の安全確保など様々な課題を抱えており、より一層の生産性向上や働き方改革に取り組むことが不可欠となっています。産学官が連携して技術展を盛り上げ、展示された技術が現場で実装され積み重ねることで、産業全体の強靱性強化へと繋がるものと考えています。新たな技術の積極的な導入により建設業がより一層元気になり、災害に対する地域の安全・安心が将来にわたって確保される社会が実現することを強く期待します。

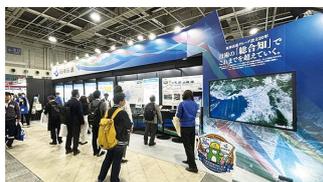
ベストブース賞



阪神高速グループ

団体

この度は、ご来場いただいた皆様のご投票により「ベストブース賞」という栄えある賞をいただけたことを大変光栄に存じます。今年は、「先進の道路サービスへ」という理念のもと、民営化20年の歩みを振り返りつつ、安全・安心・快適な道路サービスの実現に向けた取り組みを紹介させていただき、多くのお客さまにご来場いただいたことを深く感謝しております。今後も皆さまのご期待に沿えるよう、より良い道路サービスの実現に向けて誠心誠意努めて参ります。



阪神高速道路(株) <https://hanshin-exp.co.jp>
(一財)阪神高速先進技術研究所 <https://www.hit.or.jp>
阪神高速技術(株) <https://www.hex-eng.co.jp>
阪神高速技研(株) <https://www.hanshin-tech.co.jp>

注目技術賞

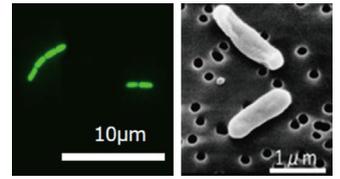


安藤ハザマ

環境

Bio-Smart Concrete

安藤ハザマは「菌の呼吸」の使い手です。コンクリートのような強アルカリ環境でも生存可能なAH菌は、酸素を使って呼吸します。この菌がコンクリート中の酸素を消費し、鉄筋のさびの進行を抑えます。そして、菌が吐き出す二酸化炭素とカルシウムが反応してできた炭酸カルシウムが、ひび割れを埋めてくれます。高濃度の水銀で汚染された環境でも生存可能な鉄酸化細菌は、鉄を使って呼吸します。水銀で汚れた土や地下水に鉄分と鉄酸化細菌を加えると、菌の呼吸によって鉄が反応し、水銀を分離できる形に変えて取り除くことができます。



AH菌

鉄酸化細菌

Tel 06-6454-2690 <https://www.ad-hzm.co.jp/>

審査委員特別賞



青木あすなろ建設(株)

防災

DRFダンパーを用いた橋梁制震化技術

兵庫県南部地震以降は、最低限の耐震補強として落橋・倒壊対策が施されてきましたが、落橋を免れても交通機能を維持できなければ、公共インフラの役割を果たすことができません。そこで、地震後も速やかな機能回復を目指す対策として、橋梁の固定支承部に設置できるDRFダンパー(ダイス・ロッド式摩擦ダンパー®)を開発しました。レベル1の中小地震には固定支承として機能し、レベル2の大地震に対しては橋脚基部を弾性範囲ないし限定的な損傷に留め地震後も緊急輸送路としての機能できるDRFダンパーによる耐震補強工法を提供します。



DRFダンパー製品画像

Tel 03-5439-8511 <https://www.aconst.co.jp/>

審査委員特別賞



首都高技術(株)

維持・更新

こんこん～連続打音検査装置～

特徴

- 高さ8.0mまでのタタキ点検に適用可能。
- 接近困難な狭隙部のタタキ点検に適用可能。
- ポールとの接続部が可動することで、接触面の角度が自由に調整可能。
- 付属のマイクロフォンにより、高所の打撃音も聞くことが可能。
- 大容量バッテリーを搭載しているため、1日作業(8H)が可能。



打撃部

打突部

操作ボックス

Tel 03-3578-5757 <https://www.shutoko-eng.jp/>

注目技術賞



展示された技術の中から、「技術の先進性」、「効果」、「活用性」の観点から公共事業の事業主体者が審査選定した「注目すべき技術」に贈られます。

審査委員特別賞



審査員による投票で、注目技術賞に選ばれなかったものの、技術の独創性やアイデア、先進性など今後、期待される技術について、審査委員会が特別に推薦したものに贈られます。

ベストブース賞



一般来場者に最も関心の高かったブースに投票していただき、得票数が最も多かったブースに贈られます。

注目技術賞



(株)エイト日本技術開発

DX・ICT

オールラウンド型ボート型ドローン

従来のボート型ドローンは深淺測量用、洗掘調査用、狭隘水路点検用、構造物点検用など用途に応じて機体の使い分けが必要でした。また、天候や現場状況に応じて適切な機体を選定する必要もあり、運用の効率性や柔軟性に課題がありました。オールラウンド型ボート型ドローンは現場にてアタッチメントを組み替えることで現場状況に応じて機体をカスタマイズできます。波風の影響を受ける港湾施設や流速のある河川施設など様々なフィールドにおいて測量、調査、点検を実施することができます。



オールラウンド型ボート型ドローン

Tel 06-6397-0753 <https://www.ejec.ej-hds.co.jp/>

注目技術賞



レフィクシア(株)

DX・ICT

LRTK

スマホがcm精度の万能測量機に！スマホやタブレットに装着するだけで、単点・連続測位、3D点群スキャン、土量計算、座標誘導など多彩な機能をスマホ1台で完結できます。撮影時には位置・方位を高精度記録し、クラウド管理・共有が可能。みちびきCLAS対応で電波が届かない場所でも測位可能です。AR技術と組み合わせ、施工予定の構造物を正確に投影し、位置合わせの手間を省きます。土木・建設、測量、インフラ管理など幅広い分野で活用でき、現場の生産性向上と効率化に貢献する次世代測位デバイスです。



LRTK Phone

Tel 03-6456-4323 <https://www.lrtk.lefixea.com/>

審査委員特別賞



インフラ物性研究機構

維持・更新

舗装再生と中温化技術の最前線 (SPring-8が拡げた世界)

舗装分野においては、CO₂排出削減等の環境負荷の低減や、再生骨材利用による資源循環の促進が重要な課題となっています。これらの解決には、従来からの目視点検を主体とした事後保全から劣化予測に基づいた予防保全へ移行する必要があると、この劣化予測においては、大型放射光施設SPring-8を活用したマイクロレベルでの損傷要因を究明する取組が非常に重要な役割を果たしています。これらの研究結果に基づき、新技術や新工法を創出し、それを社会実装につなげることが強く求められており、その最新事例を紹介します。



SPring-8全景

Tel 075-753-3543 <https://kbrc.jp/ipp/>

審査委員特別賞



ジェコス(株)

安全・安心

モバイルブリッジ

一刻を争う災害時の初動緊急支援ツールです。

- 片側からの機械式展開により設置重機は不要で、施工時間を大幅に省力化できます。
- 荷重条件は乗用車3台走行で、支間長は17.3m(全長20.8m)です。
- 輸送時はコンパクトに折り畳むことができるので、低床トレーラーでの運搬が可能です。
- メインフレームにはシザーズ(はさみ)構造を採用しており、アルミ合金材を用いて軽量化されています。



Tel 06-6346-6100 <https://www.gecoss.co.jp/>

審査委員特別賞



(株)創発システム研究所

防災

車種判別機能付きレーザ式車両検知設備

豪雪等の過酷な気象条件でも、安定した計測精度を維持！雨雪対策完了済！従来のレーザトラカンから、点群データ処理機能を追加することで、湿気の混じった雪や豪雨等の様々な天候条件下においても、好天時と同精度の車両検知を可能としました。2D LiDARによる点群データ処理を活用した、点群処理レーザトラカンは、レーザセンサ2台+変換機箱(点群処理を演算)のシステム構成です。変換機箱を小型化し、設置スペースを省き、工事の施工性とメンテナンス性が向上しています。



全国の高速道路にて200台以上が稼働中！

Tel 078-325-3220 <https://sohatsu.com/>

審査委員特別賞

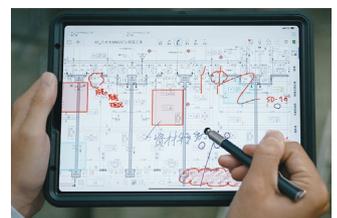


(株)MetaMoJi

DX・ICT

施工管理アプリ「eYACHO」

eYACHO(イーヤチョウ)とは、紙の野帳をデジタル化した施工管理アプリです。●図面も資料も一つに集約 ●離れた場所でもリアルタイムに共有 ●報告書や資料も事務所に戻すことなく現場で完結 大林組と共同開発したeYACHOは、朝礼、安全衛生会議、資材管理、昼夜引継、図面チェックなど、様々な現場業務に活用できます。現場では正指示書や報告書を作成できるなど現場管理の効率が飛躍的に向上し、残業削減に貢献します。



図面も資料もeYACHOに集約 仕事をスマートに業務効率UP

Tel 03-5114-2525 <https://product.metamoji.com/gemba/eyacho/>

橋梁模型製作コンテスト

10/30[木]・10/31[金] 土木・建設技術に興味を持っていただくため、わかりやすい身近なものとして橋梁模型を製作していただきました。



橋梁模型製作コンテスト
審査委員長

飯塚 敦氏

[神戸大学 名誉教授]

建設技術展近畿の定番となった橋梁模型コンテストは今年も盛会であった。完成した橋梁模型を持ち寄る学生部門、42チームの展覧があった。与えられた材料を用いて会場で製作する会場製作部門、22チームの参加があった。

建設技術展2日目には、両部門ともに、過酷な载荷試験が待っている。力学的な合理性を欠いては入賞には届かない。近年は高校生のチームが栄誉を独占している。学生部門と会場製作部門の両方で最優秀に輝いたのは、またしても高知工業高校定時制のチームであった。学年進行でメンバーは変わってゆくが、先輩からの素晴らしいDNAを受け継いでいるようである。

学生部門では、高知工業高校定時制とともに、兵庫の東播工業高校、山口の萩商工高校、新潟の上越総合

技術高校が優秀賞、審査委員特別賞に輝いた。テーマにそった装飾以上に、軽量かつ力学的機能美が入賞のカギを握っているようである。

会場製作部門は、阪神高速技術、中央復建コンサルタンツ、橿原市、近畿地方整備局京都国道事務所、本州四国連絡高速道路のチームが優秀賞、審査委員特別賞に輝いた。事前に練習を重ねなければ、とても2時間での製作完成はおぼつかない。チームワークが求められる。しかも部材の接合部の固着には細心の注意が必要である。提供される接着剤の性能は折り紙付きであるが、過信は禁物である。応力集中をなめてはいけない。

さらなる進化とともに、入賞に至らなかったチームにはリベンジが期待されている。そして新しい多様なチームの参加も期待される。来年も楽しみである。

会場製作部門

最優秀賞



優秀賞



製作課題を満たした橋梁模型の中から、学識者および橋梁の専門家で構成された審査委員会で「デザイン性」「技術度」「完成度」「経済性」等の観点から審査選定した「優秀な橋梁模型」に贈られます。また、その中から「最も優秀な橋梁模型」に最優秀賞が贈られます。

審査委員特別賞



「最優秀賞」「優秀賞」の選考からは外れたものの審査委員会で特別推薦のあった優れた橋梁模型に贈られます。

人気作品賞

[学生部門のみ]



事前に製作し、会場内に展示された完成品の中で、来場者の人気投票で最も投票数が多かった橋梁模型に贈られます。

最優秀賞



高知県立高知工業高等学校 定時制 YKS



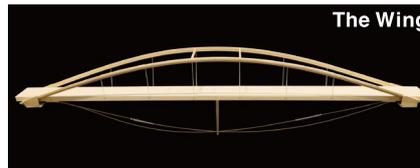
火水鳥

最優秀賞をいただきありがとうございます。高知工業高校の校章「火水鳥」をモチーフにデザインしました。今年は構造にチャレンジしたため、本番数日前まで25kgに耐えられなかったりと2時間で製作できなかつたり、不安でいっぱいでした。本番は一番出来の良い橋が作れました。3連覇の達成は本当にうれしかったです。

優秀賞



中央復建コンサルタンツ(株) Team-CFK



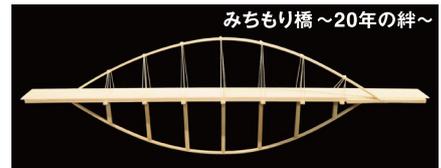
The Wing

上部に2本のアーチ、下部に張弦構造を配置した融合構造としました。この3本の構造で断面をV字に見せ、翼を広げる鳥の姿(=若手が成長し社会で活躍する姿)を表現しました。本番は製作時間いっぱいまで細部にこだわり、過去最高の出来栄となりました。仕上げの美しさが評価され、大変光栄です。

優秀賞



阪神高速技術(株) みちりng Ex



みちもり橋 ~20年の絆~

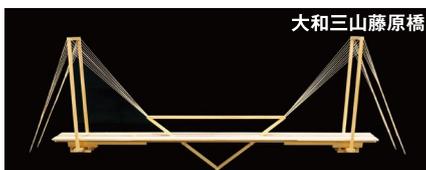
活動を始めてからは試行錯誤の連続で、幾度も製作した橋梁を落橋させていましたが、壊れた模型から構造上の特性をつかみ、最終的には载荷条件を満たす仕様を生み出すことができました。メンバー全員が初出場ながら、チーム一体となって製作した模型を評価していただき、大変光栄です。

審査委員特別賞



橿原市

Kashihara いざ 参らん



大和三山藤原橋

橿原市内に鎮座する大和三山(畝傍山・耳成山・香具山)と、日本で初めての都である藤原宮を表現すべく、本番まで諦めず試行錯誤を繰り返し、初出場ながら審査委員特別賞を受賞することができました。市長をはじめ関係者一同、驚きと喜びでいっぱいでした。ありがとうございました。

審査委員特別賞



国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所 はんなり組



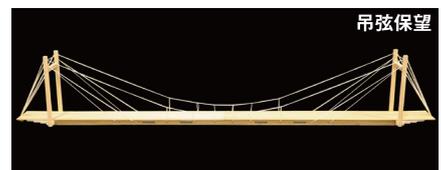
琴月橋

京都・渡月橋に着想を得て、線の細さにこだわり繊細な美しさを追求しました。製作と载荷試験を繰り返し、軽量化と強度の両立に試行錯誤を重ねたことで、圧縮力と引張力が拮抗して橋梁全体で荷重を支える合理的な構造を実現しました。受賞はチーム一同にとって今後の挑戦への大きな励みです。

審査委員特別賞



本州四国連絡高速道路(株) 架けうどん



吊弦保望

香川県らしさを大切に、瀬戸大橋をモチーフとした橋梁「吊弦保望」を製作しました。メンバー全員が初出場で、多くの困難が予想される中、あえて難易度の高い吊橋・斜張橋構造に挑戦しました。試行錯誤を重ね、思いを込めて仕上げた模型が評価されたことを大変光栄に思っております。

参加全64チーム アルファベット・50音順

会場製作部門	
岡山県立岡山工業高等学校	岡山工業高校
(株)奥村組	奥村組A / 奥村組B
樺原市	Kashihara いざ 参らん
(株)近畿地域づくりセンター	4ONE
高知県立高知工業高等学校 定時制	YKS
国土交通省 近畿地方整備局 大阪国道事務所	大國架設隊
国土交通省 近畿地方整備局 紀南河川国道事務所	紀南チームA / 紀南チームB
国土交通省 近畿地方整備局 京都国道事務所	京都国道 新採チーム / はんなり組
国土交通省 近畿地方整備局 浪速国道事務所	チーム浪速
国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所	梅ちゃん 蜜柑ちゃん
(株)駒井ハルテック	TEAM KH
中央復建コンサルタンツ(株)	Team-CFK
西日本高速道路(株)関西支社	TKOネクスコ
(株)ニュージェック	チームNJ
阪神高速技術(株)	みちリングEx
阪神高速道路(株)	サンサンオールスターズ
本州四国連絡高速道路(株)	SetoAO / 架けうどん
宮地エンジニアリング(株)	team 宮地

学生部門	
大阪工業大学	OIT TEAM F / OIT TEAM Y / OIT 遠望
大阪府立西野田工科高等学校	God sleeper / God Village
大阪府立布施工科高等学校	布施工A
大阪府立都島工業高等学校	GYO / KSH / 都工K
岡山県立岡山工業高等学校	佐藤 / 三垣 / 脇野
岡山県立高松農業高等学校	高農土木A / 高農土木B
北見工業大学	gersuke
岐阜県立岐南工業高等学校	キタゴン
京都市立京都工芸高等学校	Delicious / 天橋立 / かまぼこ隊 / 黒穴闇夜龍
京都府立農芸高等学校	農芸
高知県立高知工業高等学校 全日制	高知工業 橋梁模型班
高知県立高知工業高等学校 定時制	AT / MRK
神戸市立科学技術高等学校	神戸科技 木工研究会A / 神戸科技 木工研究会B / 神戸科技 木工研究会C / 都市工学研究会チームA / 都市工学研究会チームB / 都市工学研究会チームC
修成建設専門学校	ジオナナム
新潟県立上越総合技術高等学校	相棒 / 下剋上 / 上総リベンジャーズ / よせあつめ
兵庫県立東播工業高等学校	チーム東播A / チーム東播B
兵庫県立兵庫工業高等学校	虎's' / 無二同心
山口県立萩商工高等学校	萩維新ズa^o^ / 萩維新ズb^o^ /
和歌山県立和歌山工業高等学校	和工土木クラブ

学生部門

最優秀賞 人気作品賞

高知県立高知工業高等学校 定時制 AT



富士山

日本一の富士山を橋としてデザインしながら構造に組み込むことに苦労しました。変形のキングポストラス橋とし、頂点をワーレントラスでつなぎ、内部をバルサ材や竹ひごで補強することで山の斜面を表現しつつ強度も確保しました。載荷試験に耐え、最優秀賞と人気作品賞を受賞でき、大変うれしく思います。

優秀賞

高知県立高知工業高等学校 定時制 MRK



ロールパンナ

朝ドラ「あんぱん」の影響もあり、幼い時から大好きだった「ロールパンナちゃん」をモチーフに製作しました。ロールパンナちゃんの二面性を、デザインの「かわいい」と強度の「かっこいい」で表現できました。3年連続出場で、橋梁だけでなく、挑戦や努力の大切さも学びました。今後の人生に生かしていきたいです。

優秀賞

兵庫県立東播工業高等学校 チーム東播A



ソフトブリッジ

上部床版と下部材を重ね合わせて、その隙間に鉛直材を中央部から両支点方向へ順に組み入れ、上下対称にアーチを描くように組み合わせました。更にポイントとして、中央に楕円形で目玉状のアガチス材を組み込み、軽量化・デザイン・強度の3点を常に念頭に置き、完成させた作品です。

審査委員特別賞

新潟県立上越総合技術高等学校 上総リベンジャーズ



リベンジ橋

床版は補剛桁、上部構造は主にアーチ構造を採用して強度と軽量化の両立を目指しました。上部構造はボックス構造を利用してアーチの接合を行いました。床版は補剛桁を用いてトラス構造により剛性を持たせ、荷重変形を抑制しました。審査委員特別賞を受賞でき、この経験を糧として今後に生かしたいです。

審査委員特別賞

山口県立萩商工高等学校 萩維新ズa^o^ /



Dカン橋

私達の地元、山口県の錦帯橋をテーマに模型を製作しました。側面はシンプルな構造に見えますが、橋の裏を見ると緻密に木が組んであり、「キレイに美しく作る」ことを意識して半年間試行錯誤しながら製作しました。初出場で上手くいくか不安でしたが、審査委員特別賞を受賞でき、大変うれしいです！

審査委員特別賞

山口県立萩商工高等学校 萩維新ズb^o^ /



Newトラスマウンテン改

昨年の結果から改善点を見つけ出し、軽量化と耐久性の向上を両立させるよう設計しました。特に支給材料を薄くして使うことで、昨年より軽量化に成功しました。最優秀賞には惜しくも届きませんでした。工夫を凝らして製作した作品で審査委員特別賞を受賞することができ、本当にうれしいです。



出展者

ア行

- アーボ(株)
- アイカ工業(株)
- 青木あすなろ建設(株)
- 旭イノベックス(株)
- アサヒ産業(株)
- アジア航測(株)
- (一社)アンカー健全度協会 関西支部
- アンダーパス技術協会
- 安藤ハザマ
- (一社)イーゼースラブ橋協会
- いであ(株)
- (株)因幡電機製作所
- (株)イビコン
- イビデングリーンテック(株)
- 岩田地崎建設(株)
- インフラ物性研究機構
- (株)ウエスコ
- エアロトヨタ(株)
- (株)エイト日本技術開発
- エイトレント(株)
- (株)エスイー
- (一社)SCFR工法協会
- NTTインフラネット(株)
- NV5 Geospatial(株)
- (株)エフエムシー
- (株)エムオーテック
- 応用地質(株)
- 大型車通行適正化に向けた近畿地域連絡協議会
- (株)オーク
- 大阪大学
- 住民と育む未来型知的インフラ創造拠点
- (株)大阪防衛建設社
- (株)大林組
- 大林道路(株)
- オープンシールド協会
- (株)オクノコー
- (株)奥村組
- 奥村組土木興業(株)
- 小野田ケミコ(株)
- (株)オリエンタルコンサルタンツ／
- (株)エイテック／
- (株)アサノ大成基礎エンジニアリング

カ行

- (株)ガイアート
- 香芝市／大阪経済大学／
- (株)日本インシーク
- 鹿島建設(株)
- 鹿島道路(株)
- (株)加藤建設
- (株)カナデビアエンジニアリング
- 河合町／畿央大学／(株)森本組
- 川田建設(株)
- (株)かんこう
- 関西電力グループ
- 管清工業(株)
- (株)関電工

- (株)技研製作所
- (一社)橋梁延命化シナリオ研究会
- (株)きんそく
- (株)きんそくヒューマンネット
- (株)クスベ産業
- (株)熊谷組
- KJS協会／アンカー補修協会／
- NMアンカー協会
- (株)計測技術サービス
- 計測ネットサービス(株)
- KTB協会／PCフレーム協会
- (株)ケー・エフ・シー
- K-PRO工法協会
- ケミカルグラウト(株)
- (株)ケミカル工事
- (株)建設技術研究所
- (一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部
- (一社)建設物価調査会
- (株)構造計画研究所
- (株)鴻池組
- (株)高洋商会
- 国際航業(株)
- 国土環境緑化協会連合会
- 国土交通省 近畿地方整備局
- 近畿技術事務所
- 国土交通省 近畿地方整備局
- 神戸港湾空港技術調査事務所
- 国土防災技術(株)／
- サンスイ・ナビコ(株)
- (株)小島組
- ゴトウコンクリート(株)
- コニシ(株)
- KOBELCOグループ
- 五洋建設(株)
- コンクリートコーリング(株)

サ行

- 佐藤工業(株)
- (株)三 共
- サンコーコンサルタンツ(株)
- (株)サンレック
- GIコラム研究会
- JFEグループ
- J-ティコム施工協会
- (株)ジェイファスト
- (協組)Masters ジョテツ工法研究会
- (株)シクソン
- JIPテクノサイエンス(株)
- シバタ工業(株)
- 清水建設(株)／日本道路(株)
- (株)修成建設コンサルタント
- 首都高技術(株)
- (一社)循環式ハイブリッド
- プラストシステム工法協会
- 昭和コンクリート工業(株)
- (株)シンクロアイス
- 鈴木産業(株)
- スバル興業(株)／スバルケミコ(株)／
- (株)レンタルのニッケン

- 住友大阪セメント(株)グループ
- リフレドライショツ工法協会
- 西武建設(株)
- セーフィー(株)
- (株)仙台銘板
- (一社)先端建設技術センター
- ソイルアンドロックエンジニアリング(株)
- (株)創発システム研究所
- ソフトバンク(株)

タ行

- 第一建設工業(株)
- (株)ダイカ
- 大成建設(株)／大成ロテック(株)
- 大日コンサルタント(株)
- 大日本土木(株)
- 太平洋セメントグループ
- 大豊建設(株)
- 高田機工(株)
- (株)竹中土木
- W²R工法協会 近畿支部
- チトセ工業(株)
- 中央開発(株)
- 中央復建コンサルタンツ(株)
- (株)中 大／(株)DOVOX
- (株)DTSインサイト
- 鉄建建設(株)
- 鉄鋼スラグ協会
- 東亜グラウト工業(株)
- 東亜建設工業(株)
- 東亜道路工業(株)
- 東急建設(株)
- 東興ジオテック(株)
- 東洋建設(株)
- (株)東洋スタビ
- 戸田建設(株)
- 飛鳥建設(株)
- (一社)ドローン測量教育研究機構(DSERO)

ナ行

- (株)ナヴィック
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング
- 東京(株)
- 中日本ハイウェイ・エンジニアリング
- 名古屋(株)
- 長浜市商工会／(株)大 翔
- 新潟県
- (Made in 新潟 新技術普及・活用制度)
- 西尾レントオール(株)
- 西日本高速道路(株)関西支社
- 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
- 西日本高速道路エンジニアリング九州(株)
- 西日本高速道路エンジニアリング四国(株)
- 西日本高速道路エンジニアリング中国(株)
- 西日本高速道路ファシリティーズ(株)
- 西日本高速道路メンテナンス関西(株)
- 西日本高速道路メンテナンス九州(株)
- 西日本高速道路メンテナンス中国(株)

- 西松建設(株)
- ニチバン(株)
- 日特建設(株)
- (株)NIPPO
- 日本キャタピラー(株)
- 日本ジッコウ(株)／
- JERコンクリート補修協会
- 日本車輻製造(株)
- 日本製鉄グループ
- (株)日本インシーク
- 日本SPR工法協会 関西支部
- 日本基礎技術(株)
- (一社)日本橋梁建設協会
- 日本躯体処理(株)
- (一社)日本建設機械施工協会 関西支部
- (一社)日本建設情報総合センター
- (一社)日本建設保全協会
- 日本工営(株) 大阪支店
- 日本国土開発(株)
- 日本コンクリート工業(株)／
- フリー工業(株)
- (一社)日本鉄鋼連盟
- 日本物理探査(株)
- (株)ニューゼック
- NEXCO西日本イノベーションズ(株)
- (株)ネクスコ東日本イノベーション
- &コミュニケーションズ(NI&C)
- (株)ノリタケマシニング／(株)オリバ

ハ行

- ハイジュールネット工法研究会
- パシフィックコンサルタンツ(株)
- (株)バスコ
- (株)ハタヤリミテッド
- 発泡ウレタン空洞注入協会
- 早川ゴム(株)
- バルチップ(株)
- (一社)ドローン測量教育研究機構
- PAN WALL工法協会
- 阪神高速グループ
- ピーエス・コンストラクション(株)
- 日立建機日本(株)
- (株)日立システムズ
- エンジニアリングサービス
- Pix4D(株)
- 日之出水道機器(株) 近畿支店
- ヒロセ技研(株)／
- (株)寿エンジニアリング／
- 旭洋設備工業(株)
- ヒロセホールディングス(株)／
- ヒロセ(株)／ヒロセ補強土(株)／
- 成幸利根(株)／産業リーシング(株)
- 福井コンピュータ(株)
- 福田道路(株)
- (株)富士技建
- (株)フジタ
- 復建調査設計(株)
- (株)不動テトラ
- Flyability SA

- フリーフレーム協会 近畿支部／
- 岡 部(株)
- プレストネット工法協会／
- (株)相建エンジニアリング
- (一社)プレストレスト・コンクリート
- 建設業協会 関西支部
- 文化財石垣・石積擁壁補強技術協会
- (株)保全工学研究所
- 本四高速グループ

マ行／ヤ行／ラ行／ワ行

- 前田建設工業(株)
- 前田道路(株)
- 丸栄コンクリート工業(株)
- (株)丸治コンクリート工業所／
- ランデス(株)／(株)ミルコン
- マルチドリル工法協会
- 丸藤シートパイル(株)
- 三重塗料(株)／
- クリスタルジュエリー工法協会
- 三井共同建設コンサルタンツ(株)
- 三井住友建設(株)
- 皆元商事(株)
- 村本建設(株)
- (株)MetaMoJi
- (株)森環境技術研究所
- (株)森本組
- 矢崎組業(株)
- (株)横河NSエンジニアリング
- (株)横河ブリッジ／
- 日軽エンジニアリング(株)
- ライト工業(株)
- レジテクト工業会 関西支部
- レフィクシア(株)
- (株)ワイビーエム
- 若築建設(株)
- 和歌山県／(株)ケイエフ／
- 災対新技術研究会／(南)広 川／
- フリー工業(株)

学校

- 京都市立京都工芸専門学校
- プロジェクト工学科 まちづくり分野
- 都市デザイン領域
- 神戸市立工業高等専門学校
- 都市工学科
- 国立高等専門学校機構
- 明石工業高等専門学校
- 都市システム工学科
- 国立舞鶴工業高等専門学校
- 建設システム工学科
- 大阪工業大学
- 工学部 都市デザイン工学科
- 関西大学
- 環境都市工学部 都市システム工学科
- 関西大学 先端科学技術推進機構
- 京都大学大学院 工学研究科
- 社会基盤工学専攻 地盤力学講座
- 摂南大学 理工学部 都市環境工学科
- NPO関西インフラ維持管理
- 大学コンソーシアム

主催: 日刊建設工業新聞社 (一社)近畿建設協会 特別共催: (公社)土木学会 関西支部

共催: 西日本高速道路(株) 阪神高速道路(株) 本州四国連絡高速道路(株) 関西エアポート(株) 関西電力(株) 大阪ガスネットワーク(株) 阪神国際港湾(株) 水資源機構 関西・吉野川支社 (株)都市再生機構 (公社)地盤工学会 関西支部 (一社)日本建設業連合会 関西支部 (一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部 (一社)日本建設機械施工協会 関西支部 (公社)日本測量協会 関西支部 (一社)日本道路建設業協会 関西支部 (一社)日本理立浸透協会 近畿支部 (一社)日本橋梁建設協会 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 関西支部 (一社)公共建築協会 (一社)日本建設情報総合センター (一社)先端建設技術センター (一社)橋梁調査会 (一社)河川情報センター (公財)琵琶湖・淀川水質保全機構 (公財)河川財団 (一社)公園財団 (一社)国土政策研究会 関西支部 (一社)関西地質調査業協会

後援: 国土交通省近畿地方整備局 福井県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県 京都市 大阪市 神戸市 堺市 (公社)関西経済連合会 大阪商工会議所

建設技術展近畿 事務局

〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビルB1F (一社)近畿建設協会 事業管理部内

Tel 06-6941-5988 Fax 06-6942-3933 E-mail: kengi@kyokai-kinki.or.jp https://www.kengi-kinki.jp/kengi2025/top.html

Construction Technology EXPO 2025 Kinki